

租税法研究Ⅲ

選択 2単位

西 聡

1. 授業の概要(ねらい)

租税は公共サービスの財源であるとともに、所得格差の是正、経済政策手段としての機能を有しています。学生の皆さんにとっては、消費税の負担に加え、いずれ所得税の納税者となり、また、起業、会社等に就職すれば、法人税ともかかわりを持つことになります。このように、税は国民の活動、生活に深くかかわっています。しかしながら、税を負担しながら、税の仕組みについて理解している方は多くありません。税法は専門的で技術的な規定が多く、毎年、改正されるため、難しいと感じることが原因の一つかと考えます。

税の細かい知識は必要はありません。必要に応じて、HPなどで確認すればよいと考えます。この授業では、我が国の主要な税目について、仕組み・概要を理解するとともに、制度趣旨・背景についても考えます。

2. 授業の到達目標

- ①所得税についての基礎的な知識を修得する。
- ②所得税に関する問題点についての探求力・分析力を修得する。

3. 成績評価の方法および基準

授業への参加姿勢(70%)及びレポート(30%)で評価します。

4. 教科書・参考文献

教科書

「ケースブック租税法(第5版)」 弘文堂

参考文献

「租税法判例百選(第6版)」 有斐閣

金子宏 「租税法」 弘文堂

5. 準備学修の内容

毎回の授業の該当部分について教科書を読んでおくこと

6. その他履修上の注意事項

7. 授業内容

- 【第1回】 ガイダンス
- 【第2回】 租税法と憲法
- 【第3回】 租税法法律主義・課税要件法定主義
- 【第4回】 租税法法律主義・課税要件明確主義
- 【第5回】 租税公平主義
- 【第6回】 租税法の解釈
- 【第7回】 租税回避
- 【第8回】 租税法の適用
- 【第9回】 所得の概念
- 【第10回】 納税義務者・所得の帰属
- 【第11回】 利子所得・配当所得
- 【第12回】 譲渡所得
- 【第13回】 給与所得・退職所得
- 【第14回】 レポート発表
- 【第15回】 オンライン授業(事業所得・一時所得・雑所得)